

梁(はり)にも使える青森のスギ

要 約

県産スギの需要拡大を図るため、これまであまり使われていなかつた住宅の梁に使ってもらうため、横架材の製造方法を開発しました。見栄えも良く強度的にも安心して使える技術です。

研究成果の概要

1. 背景・目的

県産スギを、住宅部材で使用割合の最も大きい梁などの横架材として利用を図ることを目的に、信頼のおける強度、適正な乾燥、高い寸法安定性等が付与された、信頼性の高い横架材製造方法の開発に取り組みました。

2. 内容

- ・県産スギの強度区分により、横架材として必要な強度性能に応じた利用を進めるための目安となる「青森県産スギ材のスパン表」を作成しました。
- ・乾燥方法の改善により、割れの無いスギの乾燥材を生産するための「スギ横架材製造指針」を作成しました。
- ・県産スギの横架材を民間住宅建築に使用し、実証しています。
- ・県産スギの横架材への利用を普及するため、架構モデルをつくり、講習会を開催しています。

3. 活用等

この技術を活用することにより、これまで横架材としてほとんど利用されていなかった県産スギが、梁などの横架材として利用でき、県内住宅等の建築に積極的に使用されることが期待されます。



図1 割れのない乾燥材製品

注)心持ち材は、乾燥時に割れやすい



図2 民間住宅での実証（梁として使用）

関連情報

- ・この成果は、県産スギ平角材の強度試験のデータをもとに作成しています。
- ・「青森県産スギ材のスパン表」、「スギ横架材製造指針」は、林業研究所ホームページから入手できます。

<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=1193>

林業研究所 森林資源部

Tel. 017-755-3257

E-mail nou_ringyou@aomori-itc.or.jp

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

